

ReadTailC

【概要】

ReadTailC は、無償の C++コンパイラである「Borland C++ Compiler5.5」向けのエディタです。コマンドラインを意識せずに、マウスやキーボード操作でコンパイルやアプリケーションの実行ができます。学習用途での使用を目的としているため、(何度も修正・実行を繰り返すであろうと思うので) プログラムへの入力値をあらかじめ指定しての実行も可能になっています。

【免責と連絡先】

動作確認には細心の注意を払っていますが、このアプリケーションを使用することによるいかなる損害に対しても作者は責任を負うことができません。ご使用については自己責任のもとでご利用ください。ご承諾頂けない場合は、利用しないでください。なお、リバースコンパイルの類は禁止です。(連絡先: hositubu@auone.jp)

【ソフトウェア種別】

フリーソフトです。

【動作環境】

本アプリケーションは、以下の環境で動作確認しています。

OS : Windows 7 + .NET Framework 3.5 以上

必要ツール : Borland C++ Compiler 5.5 (入手方法は下記【準備】参照)

【インストール・アンインストール】

本アプリケーション自体は、zip ファイルを解凍するだけです。ただし、ネットワークドライブ上には配置しないでください。また、日本語を含むパスに保存していないことをおすすめします(Borland C++ Compiler 側の問題で)。使用開始前にオプション画面で Borland C++ Compiler 実行ファイルパス等を設定する必要があります。

※デフォルトのままインストールしていれば、C:\¥borland¥bcc55¥Bin¥bcc32.exe

アンインストール方法は、解凍してできたファイルを削除するのみです。レジストリ等の変更はしていません。

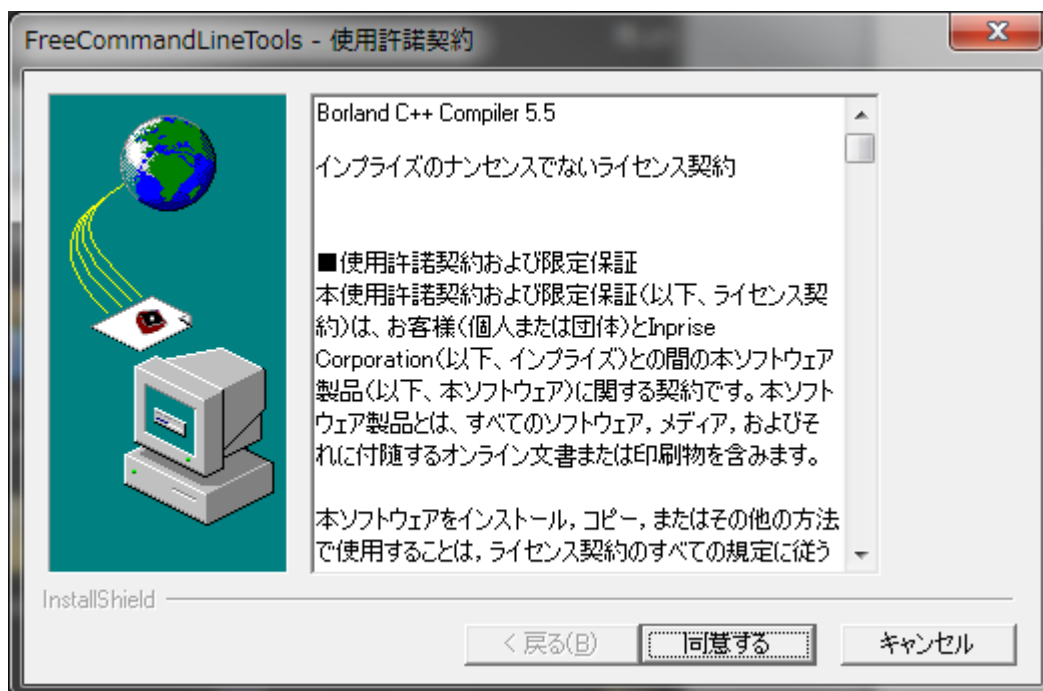
【事前準備】重要！

Borland C++ Compiler 5.5 を入手し、インストールします。

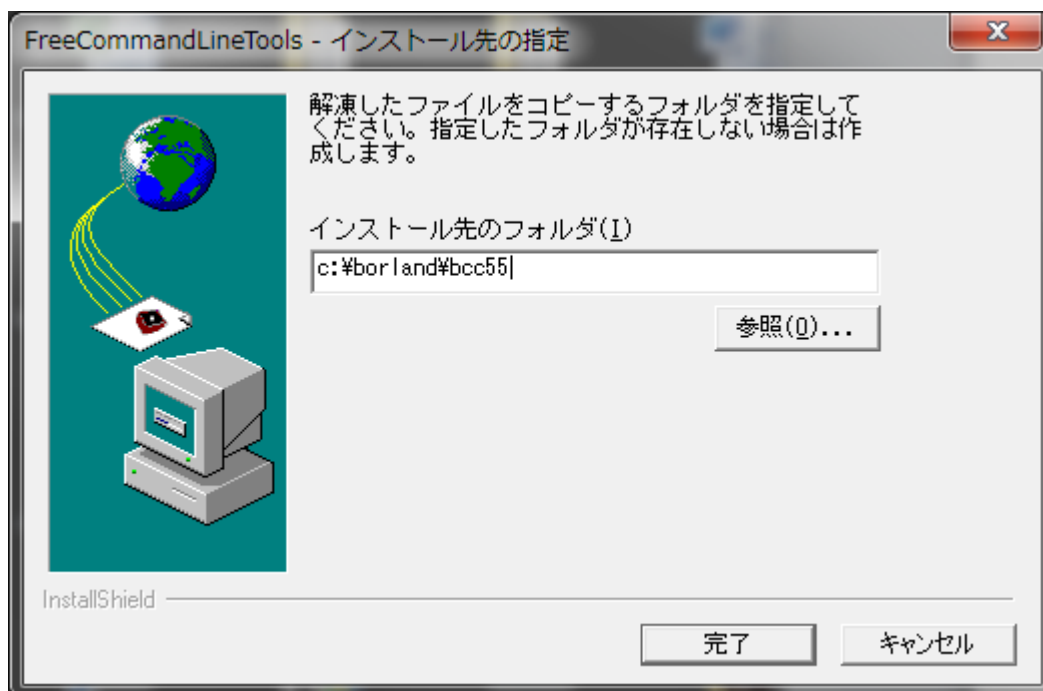
2012 年 2 月現在では、下記のサイトでユーザー登録したのち、無償ダウンロードできるようです。すでにお持ちの方は、それを用いれば良いかと思います。

<http://www.embarcadero.com/jp/products/cbuilder/free-compiler>

インストーラーを実行すると、以下の画面になります。「同意」して下さい。



次に、以下のようにインストール先を指定する画面が出ます。よほどのことがない限り、そのままするのが無難です。もし、変更する場合は、日本語やスペースなどを含まないパスに保存しておいた方が、無難です。「完了」して下さい。



いくつか、ポップアップ画面で確認が出るとはと思いますが、適宜判断して下さい。

インストールが完了すると、デフォルトでは、C:\¥borland¥bcc55 フォルダ内に readme.txt ファイルができています。この中の「コマンドラインツールのインストールと実行」の 2 の手順に従って、bcc32.cfg と ilink32.cfg を作成し、C:\¥borland¥bcc55¥Bin フォルダ内に入れておく必要があります。

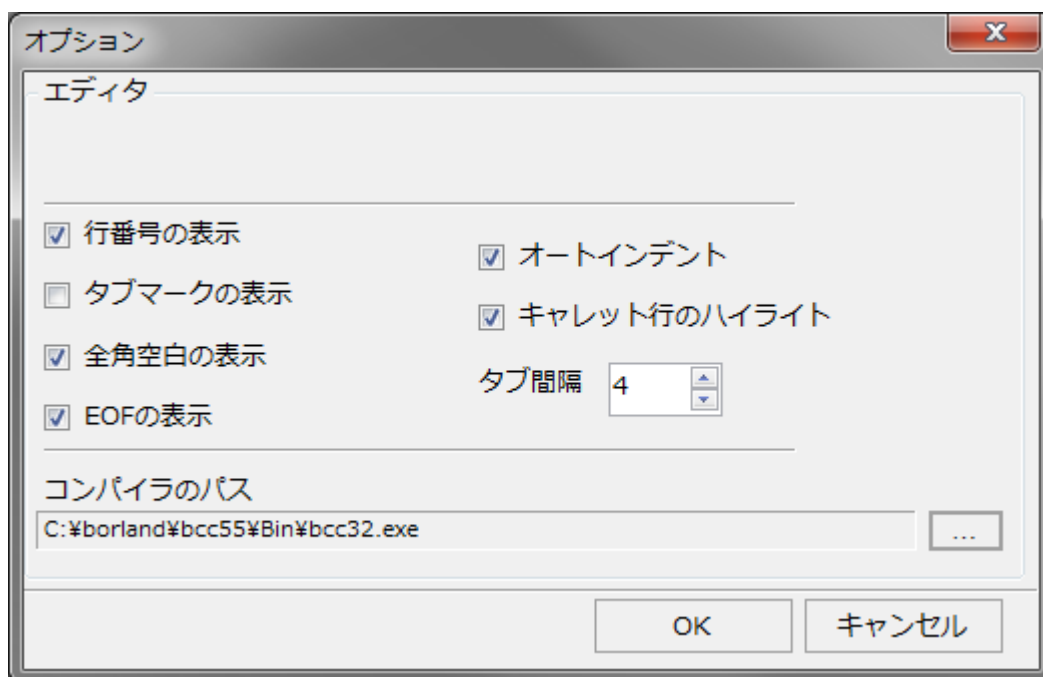
なお、この作業を簡便化するために、あらかじめ bcc32.cfg と ilink32.cfg は本アプリケーションの配布 zip 内に同梱していますので、それを C:\¥borland¥bcc55¥Bin フォルダ内にコピーしても構いません。ただし、デフォルトのインストール先から変更した場合は、同梱の bcc32.cfg と ilink32.cfg は使えませんので、ご自分で作成してください。

次に、本アプリケーションを日本語を含まないパスに配置してください。

※すべての日本語がダメなわけではないですが、一部の漢字が Borland C++ Compiler 5.5 側で対応していないようなので・・・厳密には、ソースファイルの配置に日本語が含まれていると Borland C++ Compiler 5.5 側がエラーを起こすようなので、ソースファイルの位置に注意してください。

次に、本アプリケーション側の設定を行います。

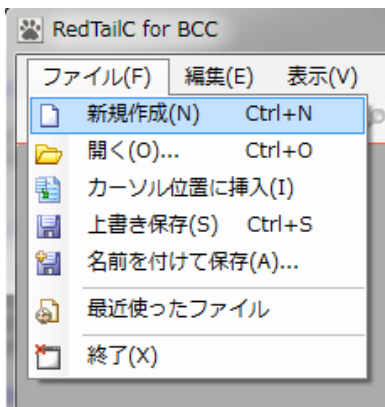
redtailc.exe をダブルクリックして、本アプリケーションを起動し、Borland C++ Compiler の実行ファイルパスを指定します。「ツール」メニューのオプションを開いてください。「コンパイラのパス」の欄にすでに正しいパスが書かれていれば、そのまま構いません。もし、正しくない場合は、右側の「...」のボタンを押して、正しいファイルを選択します。



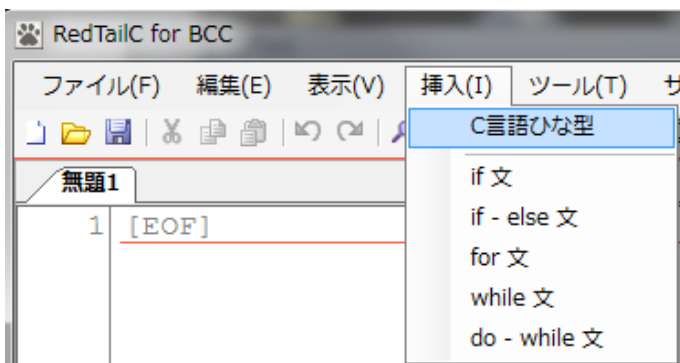
事前準備は、以上です。

【お試し実行 A】

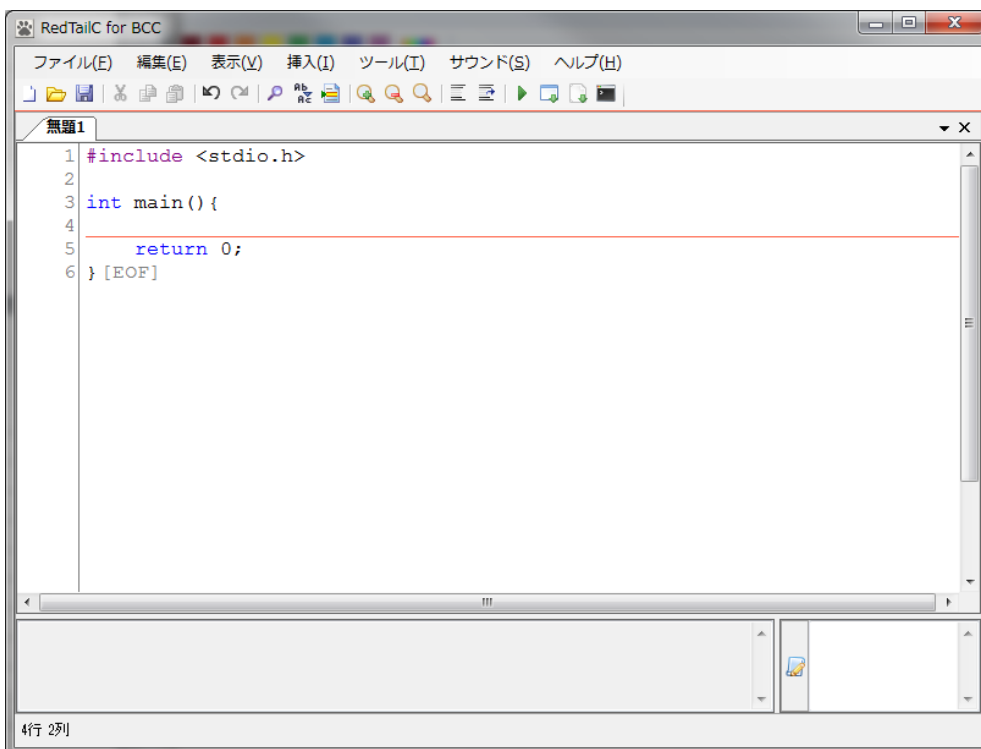
まず、ファイルメニューから、新規作成を選び、新しいエディタ画面を出します。



次に、挿入メニューから、「C 言語ひな型」を選びます。

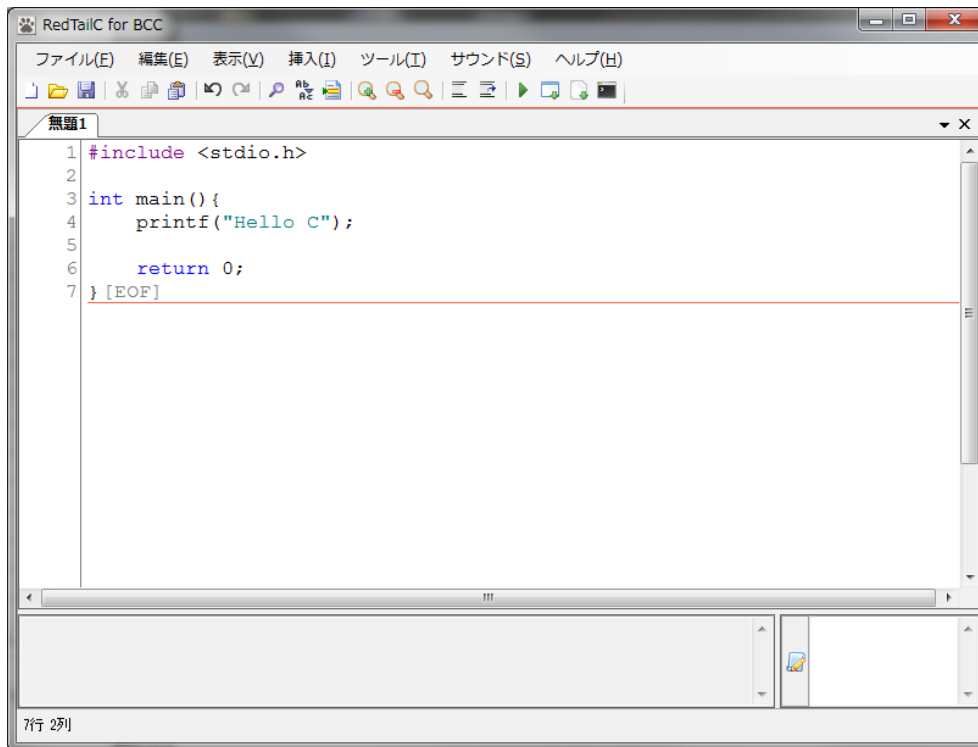


すると、以下のような画面になると思います。

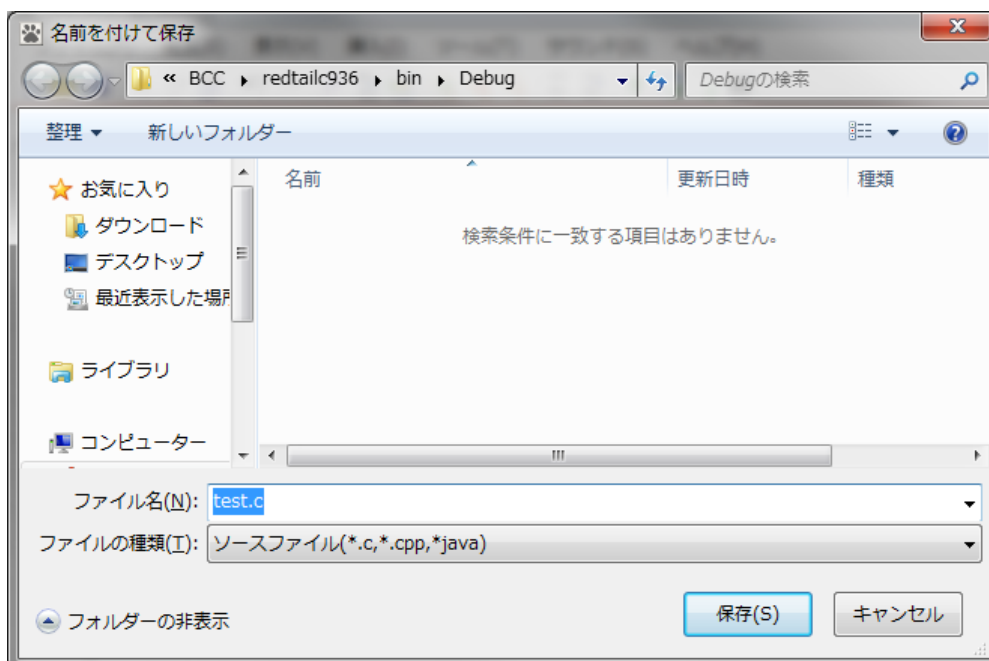


次に、3行目の `main` と 5行目の `return` の間の行・・・つまり、4行目に、マウスもしくはキーボードでカーソルを合わせ、F2 キーもしくは `Ctrl + P` キーを押します。

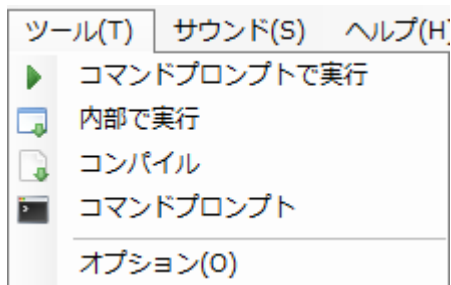
「`printf("")`」が出てくると思いますので、そのダブルクォテーションの間に、`Hello C` と入力して下さい。以下の図のような感じになります。



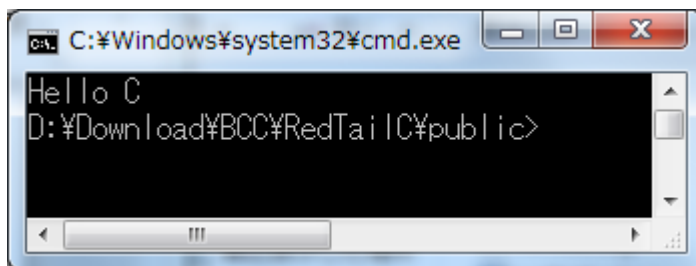
次に、現在編集中的のファイルを保存します。ファイルメニューの「名前をつけて保存」でダイアログを表示し、ファイル名を `test.c` として保存します。



最後に、実行します。「ツール」メニューの「コマンドプロンプトで実行」を選んでください。

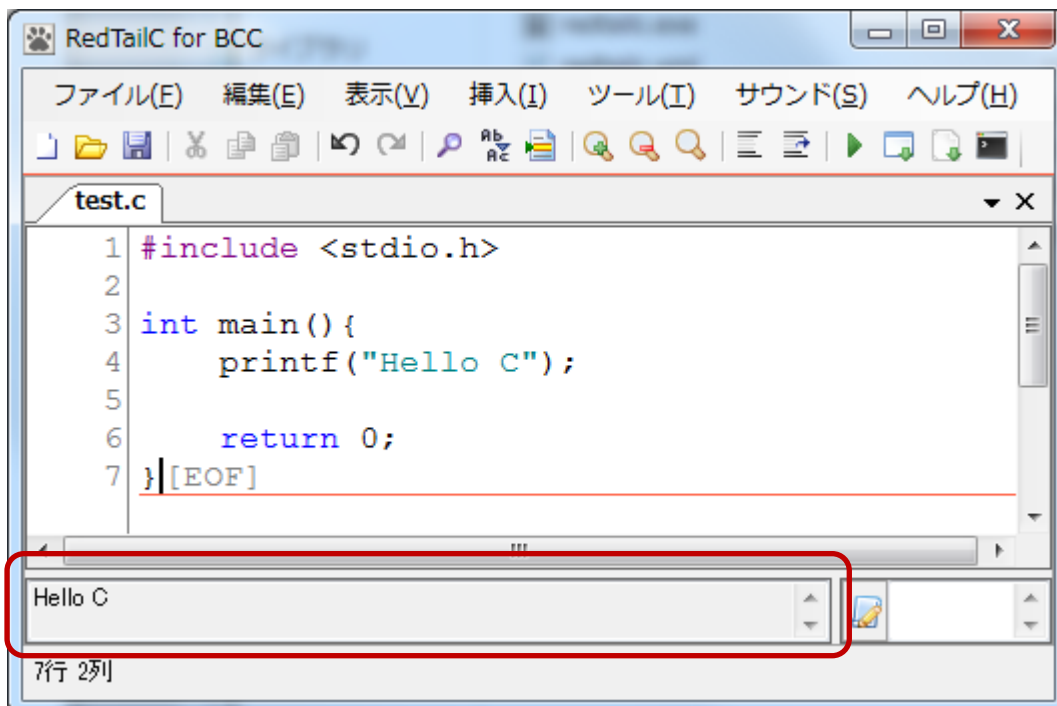


以下のように、コマンドプロンプト上で実行されます。



次に、「内部で実行」を選んでみてください。

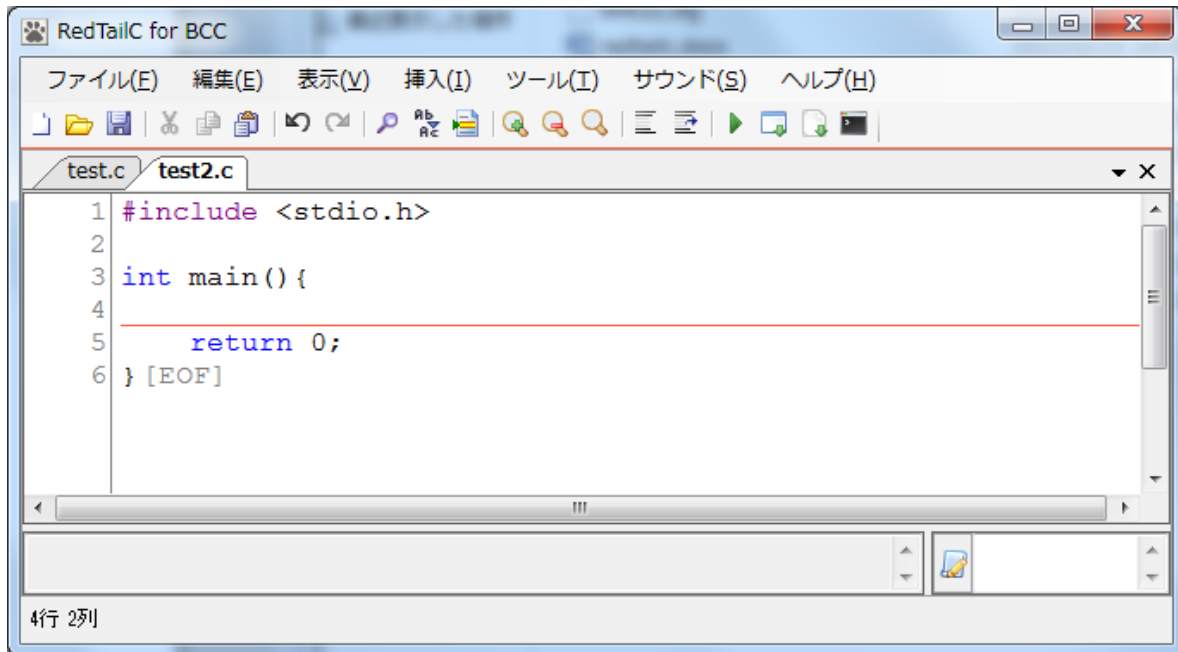
エディタ下部に実行結果が表示されます。この内部で実行の意義については、次の「お試し実行 B」で説明します。



なお、「コンパイル」を選ぶと、コンパイルのみ行います。「実行するつもりはないが、コンパイルが通るかどうかだけ確認したい」という場合に使用します。

【お試し実行 B】

まず、ファイルメニューから、新規作成を選び、新しいエディタ画面を出し、挿入メニューから、ひながたを挿入します。そして、あらかじめ、test2.c で保存しておきます。



そして、次のようにプログラムを入力します。

```
#include <stdio.h>

int main(){
    int a,b;

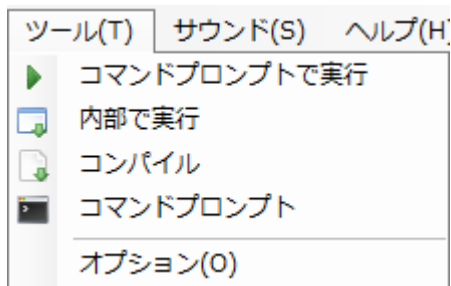
    printf("input a b:");
    scanf("%d %d",&a,&b);
    printf("a + b = %d", a + b);

    return 0;
}
```

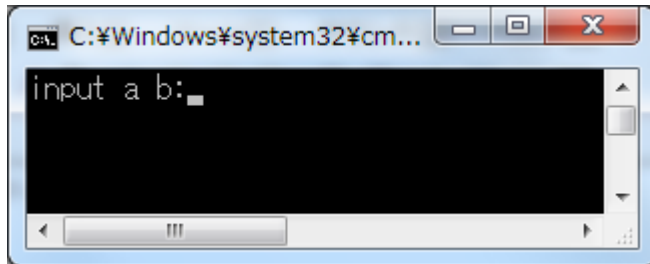
ちなみに、以下のように挿入キーが割り当てられています。

F1 キー	もしくは Ctrl + i キー	:	#include <h>
F2 キー	もしくは Ctrl + p キー	:	printf("");
F3 キー	もしくは Ctrl + Shift キー + s キー	:	scanf("");
F4 キー	もしくは Ctrl + Shift キー + f キー	:	{ }

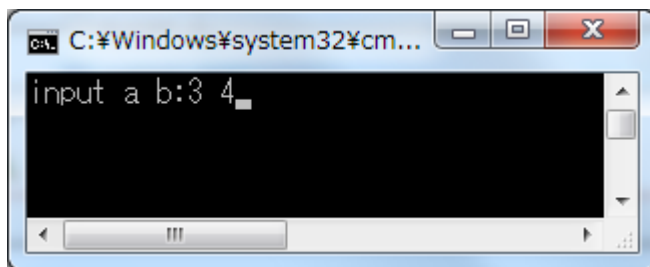
「ツール」メニューの「コマンドプロンプトで実行」を選んでください。



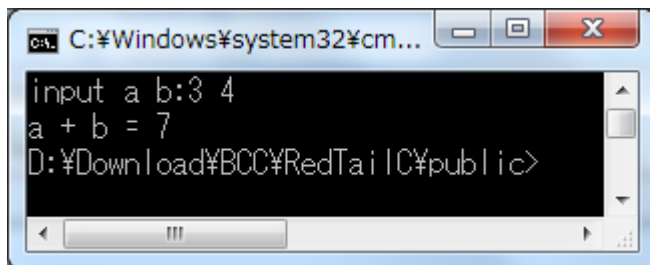
以下のように、コマンドプロンプト上で実行されます。



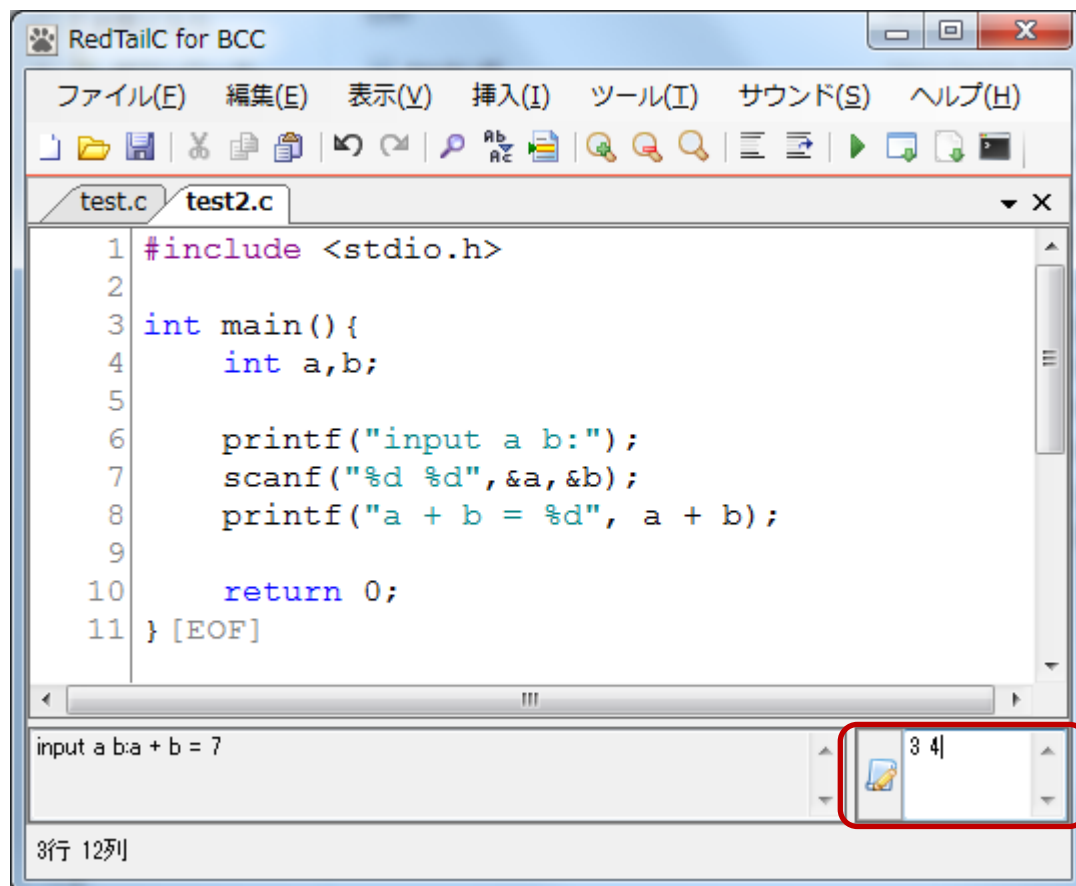
a と b の値を半角スペースで区切るようにプログラムを書いたのですから、その通り入力します。



Enter キーを押すと、計算結果が表示されます。



次に、画面右下の枠に、さきほどコマンドプロンプト上で実行した際と同じ要領で、二つの数字をあらかじめ入力しておきます。そして、「内部で実行」を選びます。すると、右下の入力値があったとの前提で実行結果が表示されます。



また、右下の領域の左隣に「クリップボードへコピー」のボタンがあります。これを押したのち、コマンドプロンプト上で実行し、右クリックして貼り付けても、同様の実行結果を得られます。入力値を何度も使用する場合は、便利かと思います。

